⚠ 安全に関するご注意　このカタログに掲載されている商品をご使用の際には、事前に取扱説明書をお読み下さい。

輸出に際してのお願い：本製品は外国為替および外国管理法の定めにより戦略物資（または役務）に該当する場合がありますので、輸出される場合は同法に基づく輸出許可の確認が必要です。

富士電機株式会社　放射線システム部　〒191-8502 東京都日野市富士町１番地　TEL：042-585-6024　お問合せ：fric-info@fujielectric.co.jp

このカタログの情報は、製品改良のため予告なしに変更されることがあります。　Printed in Japan DEC 2014.10

Fuji Electric Radiation measurement system for Nuclear Disaster Prevention

原子力防災対応放射線機器・システムカタログ

富士電機株式会社

人、場所、環境。すべての放射線安全管理を実現する、
富士電機の原子力防災対応システム。

富士電機の原子力防災対応放射線測定器・システムは、
国内外における万が一の原子力災害発生時に、
本当の安心を提供します。

01 災害現場における放射線管理

原子力災害の緊急出動時

- 空間線量を的確に把握したい
- 個人被ばく線量管理を効率化したい
- 帰還時の汚染拡大防止を効率化したい

02 人と街に高度な放射線管理

平常時/緊急時の放射線量監視

- 地域住民の避難活動を効率化したい
- 表面汚染測定を効率化したい（OIL4対応）
- 内部被ばく測定を効率化したい
- 除染活動における放射線管理を効率化したい

03 食の安心・安全 環境の放射線管理

放射性物質拡散による飲食物摂取制限時 （スクリーニング基準、OIL6）

- 食品を素早くスクリーニング検査したい。
- 農地等の土壌中の放射能濃度分布を調べたい。
- 放射性物質を可視化し、汚染分布を調べたい。

OILと防護措置について （原子力規制委員会『原子力災害対策指針・平成25年9月5日改定』より）

<table>
<tr><th></th><th>基準の種類</th><th>基準の概要</th><th colspan="3">初期設定値※1</th><th>防護措置の概要</th></tr>
<tr><td>緊急防護措置</td><td>OIL 1</td><td>地表面からの放射線、再浮遊した放射性物質の吸入、不注意な経口摂取による被ばく影響を防止するため、住民等を数時間内に避難や屋内退避等させるための基準</td><td colspan="3">500μSv/h (地上1mで計測した場合の空間放射線量率※2)</td><td>数時間内を目途に区域を特定し、避難等を実施。(移動が困難な者の一時屋内退避を含む)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">早期防護措置</td><td rowspan="2">OIL 4</td><td rowspan="2">不注意な経口摂取、皮膚汚染からの外部被ばくを防止するため、除染を講じるための基準</td><td colspan="3">β線:40,000 cpm※3 (皮膚から数cmでの検出器の計数率)</td><td rowspan="2">避難基準に基づいて避難した避難者等をスクリーニングして、基準を超える際は迅速に除染。</td></tr>
<tr><td colspan="3">β線:13,000cpm※4 (皮膚から数cmでの検出器の計数率) 【1ヶ月後の値】</td></tr>
<tr><td>OIL 2</td><td>地表面からの放射線、再浮遊した放射性物質の吸入、不注意な経口摂取による被ばく影響を防止するため、地域生産物※5の摂取を制限するとともに、住民等を1週間程度内に一時移転させるための基準</td><td colspan="3">20μSv/h (地上1mで計測した場合の空間放射線量率※2)</td><td>1日内を目途に区域を特定し、地域生産物の摂取を制限するとともに1週間程度内に一時移転を実施。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">飲食物摂取制限※9</td><td>飲食物に係るスクリーニング基準</td><td>OIL6による飲食物の摂取制限を判断する準備として、飲食物中の放射性核種濃度測定を実施すべき地域を特定する際の基準</td><td colspan="3">0.5μSv/h※6 (地上1mで計測した場合の空間放射線量率※2)</td><td>数日内を目途に飲食物中の放射性核種濃度を測定すべき区域を特定。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">OIL 6</td><td rowspan="5">経口摂取による被ばく影響を防止するため、飲食物の摂取を制限する際の基準</td><td>核種※7</td><td>飲料水、牛乳・乳製品</td><td>野菜類、穀類、肉、卵、魚、その他</td><td rowspan="5">1週間内を目途に飲食物中の放射性核種濃度の測定と分析を行い、基準を超えるものにつき摂取制限を迅速に実施。</td></tr>
<tr><td>放射性ヨウ素</td><td>300Bq/kg</td><td>2,000Bq/kg※8</td></tr>
<tr><td>放射性セシウム</td><td>200Bq/kg</td><td>500Bq/kg</td></tr>
<tr><td>プルトニウム及び超ウラン元素のアルファ核種</td><td>1Bq/kg</td><td>10Bq/kg</td></tr>
<tr><td>ウラン</td><td>20Bq/kg</td><td>100Bq/kg</td></tr>
</table>

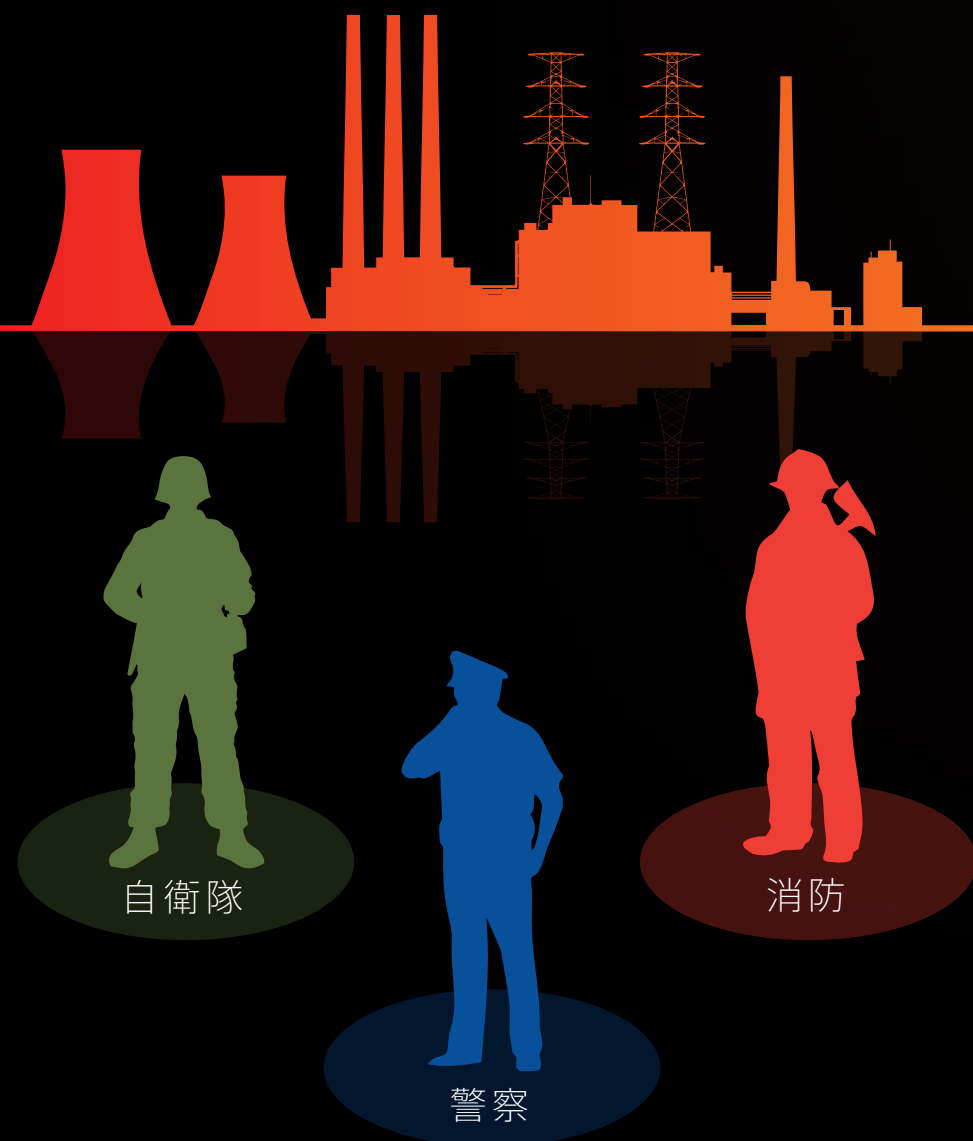
※1「初期設定値」とは緊急事態当初に用いるOILの値であり、地上沈着した放射性核種組成が明確になった時点で必要な場合にはOILの初期設定値は改定される。※2 本値は地上1mで計測した場合の空間放射線量率である。実際の適用に当たっては、空間放射線量率計測機器の設置場所における線量率と地上1mでの線量率との差異を考慮して、判断基準の値を補正する必要がある。※3 我が国において広く用いられているβ線の入射窓面積が20cm^{2}の検出器を利用した場合の計数率であり、表面汚染密度は約120Bq/cm^{2}相当となる。他の計測器を使用して測定する場合には、この表面汚染密度より入射窓面積や検出効率を勘案した計数率を求める必要がある。※4 ※3と同様、表面汚染密度は約40Bq/cm^{2}相当となり、計測器の仕様が異なる場合には、計数率の換算が必要である。※5 「地域生産物」とは、放出された放射性物質により直接汚染される野外で生産された食品であって、数週間以内に消費されるもの（例えば野菜、該当地域の牧草を食べた牛の乳）をいう。※6 実効性を考慮して、計測場所の自然放射線によるバックグラウンドによる寄与も含めた値とする。※7 その他の核種の設定の必要性も含めて今後検討する。その際、IAEAのGSG-2におけるOIL6値を参考として数値を設定する。※8 根菜、芋類を除く野菜類が対象。※9 IAEAでは、OIL6に係る飲食物摂取制限が効果的かつ効率的に行われるよう、飲食物中の放射性核種濃度の測定が開始されるまでの間に暫定的に飲食物摂取制限を行うとともに、広い範囲における飲食物のスクリーニング作業を実施する地域を設定するための基準であるOIL3、その測定のためのスクリーニング基準であるOIL5が設定されている。ただし、OIL3については、IAEAの現在の出版物において空間放射線量率の測定結果と暫定的な飲食物摂取制限との関係が必ずしも明確でないこと、また、OIL5については我が国において核種ごとの濃度測定が比較的容易に行えることから、放射性核種濃度を測定すべき区域を特定するための基準である「飲食物に係るスクリーニング基準」を定める。

原子力防災対応 放射線機器・システムカタログ

Index

01 災害現場における放射線管理

汚染検査・線量測定

災害の発生時、現場周辺で緊急活動を行う
自衛隊、消防、警察、自治体の方々は、大きな危険にさらされます。
富士電機の測定器・システムは、正確でより簡単な
放射線の安全管理を実現し、緊急活動をサポートします。

線量率測定

γ線、中性子の空間線量率
(Sv/h)を測定します。

γ線測定 P.10 >

中性子測定 P.11 >

表面汚染測定

人や物の表面に付着した放射線
(cpm・Bq/cm²)を測定します。

P.11 >

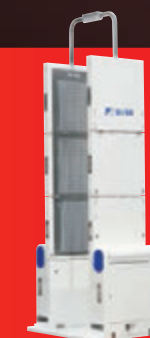
被ばく量測定

緊急時の隊員の外部被ばく線量を
リアルタイムに監視します。

P.12 >

ポータブル体表面モニタ

全身の表面に付着した放射
性物質を短時間で検出します。
本体は折り畳み可能で、ケース
に収納して持ち運べます。

QRコードから
利用シーン映像が
ご覧いただけます。

P.13 >

可搬型モニタリングポスト

可搬型のモニタリングポストを監視ポイントに設置し
クラウドシステム等にGPSの位置情報や放射線モニタ
リングデータの伝送が可能です。

P.15 >

モニタリングカー

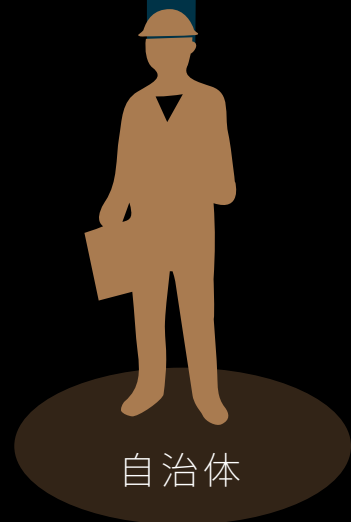
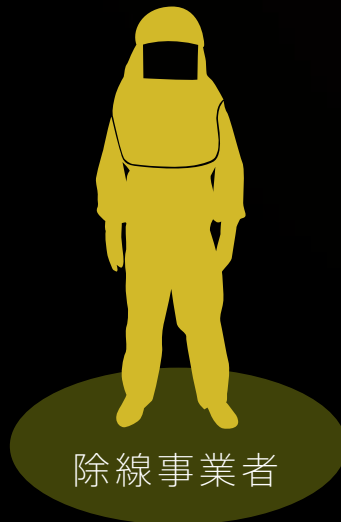
放射線検出器や様々な機材を
搭載した車輌で、移動しながら
放射線モニタリングデータの
伝送が可能です。

QRコードから
利用シーン映像が
ご覧いただけます。

P.13 >

02 人と街に高度な放射線管理

個人被ばく・環境放射線管理

いま、人の被ばく、街の線量を管理することは、
安心して生活するために必要となっています。
富士電機は、個人線量計・ホールボディカウンタ等による
外部被ばく・内部被ばく管理システムや、
周辺環境の放射線量を正確に測定する技術で、
暮らしの安全を見守っています。

個人被ばく管理システム

線量計の通信機能を利用し、線量計の警報レベル設定、設定時間毎の積算線量、最大線量率のデータ収集が可能。

P.12 ＞

環境線量計

空間γ線線量率の測定および積算線量を測定。通常時は一定時間毎に、緊急時は自動的に2分毎にデータ送信し、簡易モニタリングポストとして活用可能。OIL1・2対応。

P.12 ＞

高機能積算線量計

高感度センサーを搭載した線量計。一般環境レベルの1nSv（ナノシーベルト）単位での被ばく線量の管理が可能。

P.12 ＞

モニタリングポスト

設置場所の空間線量を測定。低線量γ線、高線量γ線、中性子など測定目的に応じた様々な検出器を搭載。

P.15 ＞

シンチレーションサーベイメータ

低線量の空間γ線の測定に最適。SCA機能による特定核種の検知、USBデータ通信機能があります。

P.10 ＞

モニタリングカー

放射線検出器や、様々な機材を搭載した車輌。移動しながらの放射線モニタリングデータ伝送が可能。

P.13 ＞

リアルタイム線量測定システム

設置場所の空間線量を測定。太陽光パネル、バッテリーなどを搭載。電源のない場所でも測定とデータ伝送が可能。

P.15 ＞

チェア式ホールボディカウンタ

放射性物質の内部被ばくを測定。座ったまま測定するので、小さなお子さんやお年寄りにも負担の少ない検査が可能。

P.13 ＞

車載型ホールボディカウンタ

チェア式ホールボディカウンタを搭載した車輌。避難場所等に移動して内部被ばくの測定が可能。

P.13 ＞

03 食の安心・安全 環境の放射線管理

環境放射能測定

内部被ばくにより人体にも影響を与える、
食品や農地など土壌の汚染。
これからは、環境の放射線管理も欠かせない問題です。
富士電機は、食品中の放射線濃度の測定や、
田んぼや畑の汚染状況を正確に確認できる技術で、
食や環境に対する不安を解消していきます。

低バックグラウンドβ線スペクトロメータ

ピコベータ

環境試料中の極微量のβ線を検出。
測定用途に応じて、サンプルチェンジャ等のオプションもございます。

P.14 ＞

土壌汚染測定モニタ

地中の深さ方向におけるCs-137放射能レベルを測定。測定サンプルは深さ1cm刻みで測定を行い、深さの異なる位置の放射線を分別し、正確な放射能レベル測定が可能。

食品放射能検査システム

全量スクリーニング検査用の装置です。検出器の高感度化、遮へいシールドの強化により、測定処理能力を大幅に強化。

※食品放射能検査システム（NMU2・3）は、平成24年度の科学技術振興機構（JST）研究成果展開事業（先端計測分析技術・機器開発プログラム）に採択され、実用化した製品です。

NMU2・3・4
（NMU4は防水対応）

P.14 ＞

QRコードから
利用シーン映像が
ご覧いただけます。

自治体

生産者

除線事業者

コンプトンカメラ

ガンマ・アイ

BGレベルから10μSv/h程度の環境を測定対象とし、カメラの撮像範囲の総放射能量（Bq）を表示。放射線の強さを色分けして表示可能。

P.14 ＞

QRコードから
利用シーン映像が
ご覧いただけます。

食品放射能検査システム

段ボール等で梱包されたままの食品中の放射能を測定する非破壊スクリーニング検査装置。
従来のサンプル測定にも対応。

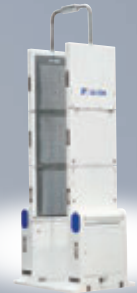
NMU 1

P.14 ＞

QRコードから
利用シーン映像が
ご覧いただけます。

QRコードから
利用シーン映像が
ご覧いただけます。

製品仕様

測定目的		線量率測定（X線・γ線）			線量率測定（中性子）		表面汚染測定	
製品名・型式		電離箱式サーベイメータ NHA 1	携帯型環境ガンマ線測定器 PEGASUS Pro	シンチレーションサーベイメータ NHC 7	中性子サーベイメータ NSN 2	中性子サーベイメータ NSN 3	GMサーベイメータ NHJ 120	表面汚染測定用サーベイメータ NHJ 2
製品の特徴		・広範囲測定（中～高線量） ・X線の漏えい線量測定 ・長時間連続使用 ・多彩な通信機能	・広範囲測定 ・トレンドデータ記録 ・小型・軽量 ・屋外使用も安心 ・充実の連携機能	・環境レベルの線量測定 ・SCAモード ・見やすいカラー表示 ・優れた操作性 ・エネルギー補償/温度補償	・高感度タイプ ・広範囲測定 ・優れた操作性	・軽量タイプ ・見やすいカラー表示 ・優れた操作性	・アナログ/デジタル表示 ・軽量ハンディタイプ ・長時間連続使用 ・かんたん操作	・多線種測定 ・見やすいカラー表示 ・優れた操作性 ・高寿命検出器
測定線種	α線	―	―	―	―	―	―	○
	β線	○	―	―	―	―	○	○
	低エネルギーX線	△	―	―	―	―	―	―
	X・γ線（～1μSv/h）	△	○	○	―	―	△	○
	X・γ線（1μSv/h～）	○	○	△	―	―	△	○
	中性子	―	―	―	○	○	―	―
検出器		円筒型電離箱	CsI（Tl）シンチレータおよびシリコン半導体	NaI（Tℓ）シンチレータ φ25.4×35.4mm	3Heガス比例計数管	有機混合ガス計数管	GM計数管（窓径φ50mm）	大面積シリコン半導体
測定表示範囲		線量率 0.1μSv/h～500mSv/h 積算線量 0.1μSv～10μSv	線量率 0.001μSv/h ～ 99.9mSv/h 積算線量 1nSv ～ 999.9mSv	線量率 0.001μSv/h～75μSv/h 計数率 0～100000s^{-1} 積算線量/計数 1nSv～99.999μSv 0～99999kカウント Sv/h・Gy/h切換タイプ有	線量率 0.01μSv/h～9.999mSv/h 積算線量 0.001μSv～9.999mSv	線量率 0.01μSv/h～9.999mSv/h 積算線量 0.01μSv～9.99mSv	計数率 0～99990min^{-1} 表面汚染密度 0～9999Bq/cm^2 積算計数 0～9999kカウント	計数率（α・β線） 0～99990min^{-1} 計数率（γ線） 0.01μSv/h～99.99mSv/h 表面汚染密度 0～999.9kBq/cm^2 積算計数 0～9999.99kカウント
測定エネルギー範囲		25～3MeV	50keV ～ 6MeV	50～3MeV	0.025eV～15MeV		―	―
使用温湿度範囲		-10℃～+40℃　35%～90%	－20℃～+50°　90%以下	0℃～+40℃　90%以下	-10℃～+45℃　35～90%以下		-10℃～+45℃　35～90%	-5℃～+45℃　35%～90%
電源		単3アルカリ乾電池×5本 ACアダプタ（オプション）	単３乾電池×2本	単3アルカリ乾電池×6本 ACアダプタ（オプション）	単2アルカリ乾電池×2本 ACアダプタ（オプション）	単3アルカリ乾電池×6本 ACアダプタ（オプション）	単3アルカリ乾電池×6本 ACアダプタ（オプション）	単3アルカリ乾電池×6本 ACアダプタ（オプション）
連続使用時間		100時間以上	48時間以上（計数音・通信機能OFF時）	30時間以上	12時間以上	12時間以上	100時間以上	4時間以上
寸法（W×D×H）		116×116×198mm	60×27×120㎜以下 （突起部除く）	95×124×220mm	約φ210×320mm （ハンドル・コネクタ部除く）	約φ150×300mm （ハンドル除く）	98×170×207mm	120×56×293mm
質量		約1kg	約200g	約1kg	約7kg	約2kg	約1.4kg	約660g
通信機能	USB	○	○	○	―	○	○	○
	赤外線通信	―	―	―	○	―	―	―
	Bluetooth	○	○	―	―	―	○	―
	GPS	○	○	―	―	―	―	―
	その他（3G/衛星携帯）	―	―	―	―	―	―	―
その他	モニタ音ON/OFF	○	○	○	○	○	○	○
	警報機能	○	○	―	―	―	○	○
	自己診断機能	○	○	○	○	○	○	○
	時計機能	○	○	○	―	○	○	○
	トレンド機能	○	○	○	○	○	○	○
	記録計出力	―	―	―	○	―	―	―
	準拠・適合規格	JIS Z4333（2006）適合			JIS Z4341（2006）に適合、ICRP74レスポンスに準拠		JIS Z4329（2004）	

製品仕様

無線式 個人被ばく線量計

測定目的	外部被ばく線量の測定
型式	NRF50
製品の特長	事故時に想定される高線量に対応、警報レベルに応じたカラーバックライト、表示、大音量ブザー、振動でアラームをお知らせ。 本体質量200gと軽量な、ハンディタイプのサーベイメータです。 市販の乾電池(約48時間)、またはUSB給電による連続測定が可能です。 Bluetooth、Wi-Fi等の無線通信対応。上位システムや他の機器と連携が可能。
測定線種	γ(X)線
検出器	シリコン半導体
電源	単3乾電池×2個、連続2500時間以上
寸法	約60(W)×105(H)×29/18(D)mm
質量	約150g(クリップ·電池含む)
通信機能	電磁誘導通信/赤外線/Bluetooth/900MHz無線またはWi-Fi/USB

個人被ばく線量計

DOSE i Series

CPXANRFA-30
γ線測定用

CPXANRFA-31
γ·中性子線測定用

測定目的	外部被ばく線量の測定	
型式	CPXANRFA-30	CPXANRFA-31
製品の特長	放射線業務従事者等の外部被ばく積算線量をリアルタイムに表示。線量当量率をリアルタイムに表示。 本体にて各種設定が可能で本体単体で使用可能。 警報機能は、本警報と予備警報の２種類が設定可能でオプションでバイブレータ付もある。日常生活防水。	
測定線種	γ(X)線	γ(X)線および中性子線
検出器	シリコン半導体	
電源	コイン型リチウム電池(CR2450)×1個	
寸法	約30(W)×110(H)×12(D)mm	約30(W)×140(H)×12(D)mm
質量	約57g(電池、クリップ含む)	約74g(電池、クリップ含む)
通信機能	別途、赤外線通信で専用ソフトウェアでデータ読出しが可能	

個人被ばく線量計

DOSE e nano

測定目的	外部被ばく線量·空間線量の測定
型式	NRE74001-10YYY-S
製品の特長	空間γ線線量率の測定および積算線量を測定。 高感度センサーを内蔵し、自然界放射線レベルからの測定が可能。線量率および積算線量は本体表示部にて表示が可能で、計数音のON/OFFも本体にて設定可能 日常生活防水。
測定線種	γ(X)線
検出器	シリコン半導体
電源	AC100V　50/60Hz(充電器)
寸法	約120(W)×46(H)×15(D)mm (突起部を含まず)
質量	約110g
通信機能	別途、赤外線通信で専用ソフトウェアでデータ読出しが可能

環境線量計

OIL
1·2
対応

測定目的	環境放射線の測定
型式	NSD4
製品の特長	空間γ線線量率の測定および積算線量を測定。優れた空間放射能検出性能、方向特性に加え通信機能を有します。通常時は積算線量を一定時間毎に送信。 緊急時は自動的に2分毎にデータ送信し、簡易モニタリングポストとして活用可能。
測定線種	γ線
検出器	シリコン半導体
エネルギー特性	±30%以内(60keV～6MeV:^{137}Cs基準)
線量特性	BG～10mSv/h
電源	AC100V　(電源喪失時は内臓バッテリーで約1週間動作)
寸法	約60(W)×25(D)×139(H)mm
質量	約220g
通信機能	別途、携帯電話回線利用可能

ポータブル体表面モニタ

測定目的	災害現地における体表面の汚染測定
型式	NMA
製品の特長	迅速に大人数の汚染検査が可能 本体は折り畳み可能で、運搬が容易 測定結果はPCに保存可能
測定線種	β線·γ線(密着でα線も可)
検出器	シリコン半導体
電源	AC100V
寸法	650(W)×2200(H)×720(D)mm
質量	約80kg
その他	PCとの接続により設定値等変更可能

チェア式ホールボディカウンタ

測定目的	内部被ばく線量の測定
型式	NLW
製品の特長	簡便な取扱いで体内放射能量を測定可能 残留放射能、預託実行線量を測定、評価 被験者は椅子に座っているだけで測定可能
測定線種	γ線
検出感度	200Bq(Cs-137 2分測定 BG0.1μSv/h以下のとき)
測定エネルギー範囲	100～2,000keV
検出器	NaI(Tℓ)シンチレータ　5″×3″×16″　2台
電源	AC100V
寸法	1500(W)×1500(H)×1500(D)mm(本体)
質量	約4,000kg

車載式ホールボディカウンタ

定目的	内部被ばく線量の測定
型式	―
製品の特長	チェア式ホールボディカウンタを搭載し、測定場所まで自走移動が可能
(参考車両)	
車両構造	8t中型車以上
エンジン	ディーゼルエンジン
駆動方式	前2輪駆動
乗車定員	2名以上
間取り構成	測定室、操作室、待合室など
電源	AC100V(発動発電機搭載)
寸法	10(W)×3.7(H)×2.5(D)m以下

モニタリングカー

測定目的	環境放射線の走行中測定および移動測定
型式	―
製品の特長	測定地点に自走して各種測定が可能。 走行中の測定結果より周辺線量マッピング等が可能。
(参考車両)	
車両構造	小型貨物車
エンジン	ガソリンエンジン
駆動方式	四輪駆動
乗車定員	2名以上
測定機器	NaI(Tl)シンチレータ、球形加圧電離箱、ダストモニタなど
電源	AC100V(発動発電機搭載)
寸法	約5.5(W)×2.8(H)×2.0(D)m以下

製品仕様

食品放射能検査システム

スクリーニング測定

項目	内容
測定目的	一般食品中の放射性セシウム／放射性よう素を測定
型式	NMU1
製品の特長	通常のバックグラウンド(0.1μSv/h以下)において 食品を梱包状態(段ボール等)で非破壊の測定が可能。 測定前の下処理が不要で、食品中の放射性セシウム スクリーニング法に準拠した測定が可能。
測定核種	放射性セシウム(Cs-134/Cs-137)、放射性ヨウ素(I-131)
検出器	NaI(Tl)シンチレータ(2φ×2inch)　2本
電源	AC100V　50Hz/60Hz
寸法	約36(W)×135(H)×86.5(D)mm (コンベア除く)
質量	約150kg (コンベア除く)
その他	付属のデータ処理ソフトウェアにてデータ管理が可能

食品放射能検査システム

スクリーニング測定

項目	内容
測定目的	一般食品中の放射性セシウムを測定
型式	NMU2·3
製品の特長	高バックグラウンド(1μSv/h以下)において 食品を梱包状態(段ボール等)で非破壊の測定が可能。 測定前の下処理が不要で、食品中の放射性セシウム スクリーニング法に準拠した測定が可能。
測定線種	放射性セシウム(Cs-134/Cs-137)
検出器	NaI(Tl)シンチレータ(2φ×2inch)NMU2:8本、NMU3:12本
電源	AC100V　50Hz/60Hz
寸法	約3300(W)×1500(H)×1030(D)mm
質量	約2300kg
その他	付属のデータ処理ソフトウェアにてデータ管理が可能

低バックグラウンドβ線スペクトロメータ

ピコベータ

項目	内容
測定目的	ごく微量の放射性試料からのβ線エネルギーを分析
型式	NPB
製品の特長	すぐれた構造の検出器と同時計数方式の採用により 1dpm以下の微弱なβ線放射能スペクトルを測定可能。 試料は、固体状で測定できるので液体シンチレーション 測定方式に比較して処理が簡単
測定線種	β線
検出器	GM計数管
電源	AC100V　50Hz/60Hz
寸法	約φ300×515㎜(検出部) 約483(W)×90(H)×365(D)mm(β線アナライジングモジュール)
質量	約230kg(検出部)
その他	別途自動サンプルチェンジャーとの組み合わせも可能

コンプトンカメラ

ガンマ·アイ

項目	内容
測定目的	低レベル汚染地域の汚染状況の可視化
型式	ー
測定対象核種	Cs-134,Cs-137
検出器	CsI(Tl)シンチレータ
測定時間	約10分(1MBq相当·距離3mにて)
検出距離	1～30m
線量率範囲	0.01～10μSv/h(ただし、3μSv/h以上ではオプションのシールドが必要)
角度分解能	3.5°
最大視野角	前方60°(後方60°も同時測定可)
電源	AC100V　50/60Hz、外部バッテリ
寸法	約600mm (W) ×420mm (D)×400 (H) mm(突起部除く)
質量	20kg 以下 (本体)
その他	PC(専用ソフトウェア)、有線LANによる接続

リアルタイム線量測定システム

項目	内容
測定目的	環境放射線の測定
型式	NAH2
製品の特長	環境中の空間線量率測定が可能 携帯電話回線を利用しリアルタイムに線量の表示が可能
測定線種	γ(X)線
検出器	シリコン半導体
測定範囲	BG　～99.99mSv/h
エネルギー依存性	±25 % (60 keV ～ 1.25 MeV :137Cs基準)
電源	AC100V、太陽電池、2次電池
寸法	700(W)×2200(H)×900(D)mm
質量	120kg以下
通信機能	簡易エリア 2タイプ

モニタリングポスト

項目	内容
測定目的	環境放射線の測定
型式	ー
製品の特長	環境中の空間線量率測定が可能
測定線種	γ(X)線
検出器	NaI(Tl)シンチレーション検出器
測定範囲	BG ～ 99.99μGy/h
線量特性	±20 %
電源	AC100V
寸法	600(W)×1800(H)×500(D)mm
質量	120kg以下
その他	

可搬型モニタリングポスト

項目	内容
測定目的	環境放射線の測定
型式	NAH3
製品の特長	環境中の空間線量率測定が可能 携帯電話回線を利用しリアルタイムに線量の表示が可能
測定線種	γ(X)線
検出器	NaI(Tl)シンチレータ及びシリコン半導体
測定範囲	BG　～99.99mGy/h
線量特性	±20 %
電源	AC100V、太陽電池、2次電池
寸法	400(W)×700(H)×300(D)mm
質量	25kg以下
通信機能	携帯電話回線利用可能

点検·校正サービス

富士電機では、サーベイメータ·線量計等の放射線測定器の性能維持·確認のため、年1回程度の定期的な点検校正の実施を推奨しています。校正の実施により、国家標準とのトレーサビリティを確保することができます。点検·校正、修理等をご依頼の場合は、下記の営業所または当社代理店へお問合せ下さい。

富士電機株式会社 東京事業所

東京事業所内　試験校正施設

製品についてのお問合せ先

グループ	所在地
北海道グループ	〒060-0031 北海道札幌市中央区北一条東二丁目５番地２ 札幌泉第一ビル　TEL:011-221-5482
東北グループ	〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3番30号 TEL:022-716-0203
首都圏グループ	〒191-8502 東京都日野市富士町1番地 西2号館 TEL:042-585-6024
中部グループ	〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄一丁目5番8号 広小路アクアプレイス　TEL:052-746-1032
関西グループ	〒553-0002 大阪府大阪市福島区鷺洲1 丁目11番19号 富士電機大阪ビル　TEL:06-6455-3891
中国·四国グループ	〒690-0393 島根県松江市鹿島町片句654-1 TEL:0852-82-3107
九州グループ	〒812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町5番18号 博多NS ビル　TEL:092-262-7844